

CAICA、ブロックチェーン開発パートナーシップ「Plasm Grit Partners」に参画 ～ Stake Technologies とブロックチェーン「Plasm Network」のビジネス適用と社会実装を推進 ～

この度、株式会社CAICA（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：鈴木 伸、以下「CAICA」）は、Stake Technologies 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：渡邊 創太、以下「Stake Technologies 社」）が企図するブロックチェーン開発パートナー「Plasm Grit Partners」の第一期メンバーに認定されました。

「Plasm Grit Partners」とは、企業向け Plasm Network 提供の一環としてコア開発企業である Stake Technologies 社が Plasm Network* 上でのシステム構築に関して、迅速かつ包括的なサポートを提供するものです。

● パートナープログラムの狙い

本プログラムでは、ブロックチェーン領域における開発実績を持つ企業と共にパブリックブロックチェーン「Plasm Network」のビジネス適用と社会実装を進めていきます。Stake Technologies 社がブロックチェーン開発で培ってきたナレッジと技術を教育プログラムや個別のチャットなどで提供し、パートナー企業はユースケースに応じて Plasm Network を使用します。これまでスケーラビリティの問題などで PoC から進まなかったユースケースをパブリックブロックチェーンの特徴を活かしながら推進します。

* Plasm Network とは Polkadot の Parachain として稼働(予定)する Layer2 スケーラビリティソリューションを実装可能なパブリックブロックチェーンです。「自由であること」、「フェア(公平)なシステムで成り立っていること」、「そのシステムはすべて透明なアルゴリズムで記述されていること」の3点を念頭に置いて開発を進めています。Plasm Network では Plasma などの Layer2 ソリューションを実装可能なので、これまで実現できなかったトランザクションの高速処理を実現します。どのようなアプリケーションも記述可能ですが、特に決済、IoT、ゲームなどでのユースケースが適しています。

● CAICAの実績

CAICAグループは、100%子会社であり、全エンジニアがブロックチェーン技術に取り組んでいるシステム開発会社の株式会社CAICAテクノロジーズを擁しております。これまでブロックチェーンなど暗号資産に関する技術・ノウハウを活かした自社開発の暗号資産交換所システム「crypto base C（クリプトベース・シー）」の販売、暗号資産交換所「Zaif」のシステムインテグレーションや、ブロックチェーン技術を活用した出版コンテンツの総合的な権利処理基盤の開発等に加え、様々な業種に向けたブロックチェーンのPoC（概念実証）やコンサルティングを受注しております。

- 「Plasm Grit Partners」パートナー企業一覧

- ・株式会社クシム

<https://www.kushim.co.jp/>

- ・コンセンサス・ベース株式会社

<https://www.consensus-base.com/>

- ・株式会社 techtec

<https://techtec.co.jp/ja>

- ・株式会社電縁

<https://www.denen.com/>

CAICAグループのシステム開発事業は、高い信頼性や処理能力などが求められる金融業界向けのシステム開発を中心として創業以来蓄積してきた技術やノウハウを強みとしており、現在、グループ全体で約400名の技術者を擁しております。ブロックチェーンを活用したFinTech関連分野をかねてより戦略的注力領域に位置付けており、今後もブロックチェーン技術を基盤とした暗号資産ビジネスへの取り組みを加速させてまいります。

当社グループの今後の展開にご期待ください。

以上

【Stake Technologies 株式会社】

<https://stake.co.jp/company>

本社：東京都港区南青山 3-1-30 エイベックスビル コワーキングスペース「avex EYE」内

代表取締役：渡邊 創太

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社CAICA

info-02@caica.jp

TEL 03-5657-3000